

令和2年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分） 事業概要

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

事業名	事業実施目的・事業内容
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業	認知症地域支援推進員（以下：推進員）の質の評価と向上は重要な課題となっています。また、令和元年度から新たに追加された認知症の人等の社会参加活動のための体制整備の取り組みは推進員の今後の重要な役割となっています。しかし、現状においては情報や具体策が不足している状況です。そこで、今回は以下の2点を目的とした研究調査事業を実施します。①全国の推進員の活動等（都道府県、市町村が行っている推進員の質の評価や向上に資する取組を含む。）についての実態調査等を実施し、推進員の質の評価手法や向上のための方策を検討し提言を行います。②認知症の人等の社会参加活動の体制整備に取り組んでいる自治体と未実施自治体の詳細な調査を実施し、取組み上の課題解決のため方策について検討し、自治体や地域の実情に応じた推進員活動を通じて、認知症の人の多様な社会参加の創出につながる手引き等を作成し配布します。
認知症介護実践者等養成研修における受講の仕組みを含むカリキュラムのあり方に関する調査研究事業	認知症の人の増加を踏まえ、認知症介護実践者等研修（基礎研修、実践者研修、リーダー研修、指導者養成研修）の強化が求められる。このため、認知症ケア従事者がより当該研修を受講しやすい仕組みの検討を行うとともに、認知症施策推進大綱に位置付けられている意思決定支援、認知症の人本人・家族視点の重視等、最近の認知症施策の動向を踏まえた当該研修カリキュラムの改訂について検討し、必要な提言を行う必要がある。また都道府県・指定都市および研修実施機関、認知症介護指導者に対してこれを普及するための資料を作成・周知し、認知症ケアの充実を図ることを目的とする。
認知症 BPSD ケアプログラムの広域普及に向けた検証事業	科学的な根拠に基づく認知症の行動・心理症状（BPSD）の心理社会的なケアの推進に向けて、ICTと客観的な評価指標を活用したPDCAサイクルによるチームケアを促進するBPSDケアプログラムを全国展開するために、BPSDの可視化と継続モニタリングのためのオンラインシステムやe-Learning研修システム、研修修了者の継続的なプログラム活用を支援するフォローアップ等の運用体制の準備を行う。これにより、質の高い認知症ケアを全国で提供できる体制が整う。同時に、同プログラムを導入しているスウェーデン、デンマーク、オランダ等との国際展開も視野に入れた研究活用の方角性を検討するとともに、日本の科学的介護の実現に貢献するため、科学的介護データベースCHASEに収集するデータ項目を検討し、様式を設計する。